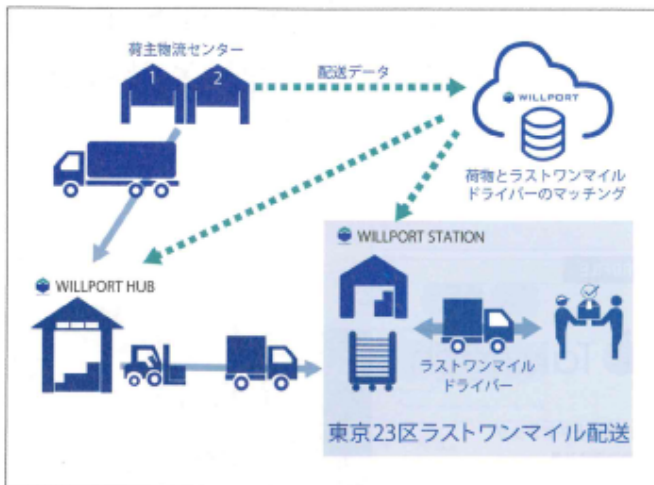


ドライバーシェアリング  
3つのポイント

- 1 配送の人手不足を解消するシステム構築
- 2 ドライバーの労働環境改善に寄与
- 3 効率的な仕組みの構築により荷主のコスト圧縮にも効果あり!



します。また、弊社の顧客基盤も活用しながら、ウィルポートさんの配達サービスの成長を後押ししていく方針です。昨今、いわゆる「宅配クライシス」の影響で、弊社のお客さまであるEC事業者の多くが、配送の課題に直面しています。一方で消費者からは、より早く安定した配達を望む声が多いことから、ウィルポートさんが手掛けるラストワンマイルの配達サービスは、こうした課題の解決の一つにつながるかと期待しています。

**ドライバーの労働環境を改善し持続可能な配達業界に**

ラストワンマイルの配達サービスを拡大していく上で、重視していることは何ですか？

▼城山 ドライバーが、適正な所得を得られる仕組みを作ることです。ドライバーを増やすためには、労働環境を改善することが欠かせません。ですから、配達件数や配達委託料の設定には、特に気を配っています。

現在の配達業界は、多量下請け構造になっており、末端のドライバーの中には苦しい生活をしている方もたくさんいらっしゃいます。そういった現状を、弊社のプラットフォームで変えていきたい。実際、弊社の「生活支援物流

事業」でドライバーに支払っている配達委託料は、業界相場の上、5〜2倍（当社調べ）の水準です。

▼中村 弊社がウィルポートさんと提携した理由の一つは、配達業界の労働環境を改善したいという、ウィルポートさんの理念に共感したからです。ウィルポートさんの配達サービスを通じて、物流業界の労働環境が改善することを願っています。

**ラストワンマイルから通販物流に革命を起こす**

「宅配クライシス」を解決するために、ウィルポートさんの配達サービスに大きな期待がかかります。

▼藤原 弊社の配車システムは、物流業界でトップクラスの利便性と機能性、運用コストの安さを実現していると自負しています。強調しておきたいのは、単なるマッチングプラットフォームではないということ。配達ドライバーの選定や、配達品質の管理に抜かりはありません。そして、15年の配達ノウハウを生かし、ラストワンマイルの配達効率を高めて無駄なコストを徹底的に省きます。ですから、荷主さんの配達コストの圧縮にも役立つはずですよ。また、柔軟な配達サービスを提供することも可能です。例えば、

**CONTACT** お問い合わせはこちらへ

**ウィルポート株式会社**

**03-6205-7399**

受付時間 平日9:00~18:00 (土日祝、夏期・年末年始休み)

<https://members.willport.co.jp/matching/contact>  
(お問い合わせフォームより)

<https://www.willport.co.jp/>

ウィルポート ラストワンマイル **検索**

# “ドライバーシェアリング”で宅配危機を解決へ ラストワンマイルの配送サービス始動

地域密着型の物流拠点を各地に作り、荷物と配達ドライバーを自動的にマッチングすることで、配送のラストワンマイルを効率化する。ラストワンマイル物流ソリューションを提供するウィルポートと、物流専門の不動産開発を行うプロロジスが業務提携し、新たな配達サービスに乗り出しました。宅配クライシスの解決に挑む、2社が始めたサービスとは。サービスの全容と、今後の展望を聞きました。



PROFILE

**ウィルポート株式会社**

**取締役 新事業開発統括マネージャー**  
**城山 憲明** Noriaki Shiroyama  
食物流通事業を広告で起家し31年目。生活支援物流事業などを開発し全国へ普及。2015年ウィルポート株式会社設立に参加。現在に至る。

**代表取締役**  
**藤原 康則** Yasunori Fujiwara  
30代で運輸関係者の後に上京。ベンチャー支援事業会社の役員を経て、輸入食品加工メーカー（MexicoでJVによる食品工場）を立上げ代表に。医療機器卸販売会社を起業すなど、数々の事業立上げの経験を経て現職に就く。

**PROLOGIS**

**プロロジス**  
シニアバイスプレジデント 開発本部 副本部長 兼 開発部 統括部長  
**中村 明夫** Akio Nakamura  
2005年4月プロロジス入社。2013年7月よりシニアバイスプレジデント 開発部 統括部長として日本における開発およびリーシングの統括責任者として指揮を執る。一級建築士/宅地建物取引士。

**自動配車システムで  
ラストワンマイルを効率化**

ウィルポートさんとプロロジスさんが開始した、新たな配達サービスについて教えてください。

▼藤原 地域密着型の小規模な物流拠点を各地に開設し、複数の荷主のラストワンマイル配達を請け負います。特徴は、荷物と配達ドライバーを自動的にマッチングすること。配達する地域や時間帯に応じて、物流拠点到近接しているドライバーに荷物を割り当てます。配達ドライバーは、配達スケジュールをスマホでリアルタイムに確認し、荷物を運ぶ。この仕組みによって、効率的な配達を実現します。

登録しているドライバーは、運送会社の従業員や個人事業主のほか、空き時間に副業で働いている人もいます。専業ドライバーはしっかり稼げますし、副業の方は短時間で効率的に収入を得ることが出来ます。この「ドライバーシェアリング」の仕組みを通じて、ドライバーが働きやすい環境を整えることで、配達業界の人手不足を解消していきたいです。

▼城山 荷物と配達ドライバーを自動的にマッチングするシステムは、弊社が独自に開発しました。2005年以前から手掛けている

「生活支援物流事業」のシステムを応用しています。「生活支援物流事業」とは、スーパーやドラッグストアなどで消費者が購入した荷物を、自宅まで配達するサービス。加盟店約300店舗、登録会員は約20万人の実績があります。15年間わたる「生活支援物流」で培った、ラストワンマイルの配送のノウハウやノウハウを新規事業に活かします。

**物流拠点の開発や  
顧客紹介でシナジー創出**

2社が今年6月、資本業務提携を結んだ理由を教えてください。

▼藤原 ラストワンマイルの配達を行うには、各地に物流拠点を設置しなくてはなりません。目標は、1万世帯ごとに1カ所の拠点を置くこと。例えば東京23区内なら、約400カ所必要です。これだけ多くの物流拠点を、弊社単独で開発するのは難しい。そこで、物流分野における不動産開発のプロフェッショナルである、プロロジスさんと提携しました。

▼中村 プロロジスは現在、国内に55棟、約430万㎡の賃貸物流施設を運営しており、多くの企業さまにスペースを提供しています。これまでに培った不動産開発のノウハウを生かし、ウィルポートさんの配達サービスをサポート

1週間以内に配達すればよい荷物は配達費用を通常よりも安くし、時間帯指定も柔軟に設定する。一方で、生鮮食品などは、多少送料が高くてもスピードを最優先し、即日配達を行います。

▼城山 現在の宅配業界は、寡占化が進み、配達時間帯や配達費用が硬直化しています。通販会社やEC事業者は、配達サービスを提供し、顧客さまが選べます。弊社には、配送サービスを提供することで、荷主さんのサービス向上を支援することにも、地域の生活を便利にしたい。そして、ドライバーさんの生活基盤も安定させる。それが、ウィルポートとプロロジスが目指す、ラストワンマイルソリューションです。